



1巻/18号 2019/9/27

地域活性学会で本校生徒が発表！

9月14日（土）大村市コミュニティセンターで開催された地域活性学会において、本校2年奥山ひとみさんと笹浦瞳さんが、ウェスレヤン大学学生との共同発表を行いました。5月～7月まで2年普通科文系で取り組んできた「インフラさるく」での成果を、日本全国から集まった専門家の前で堂々と発表することができました。



◆地域連携講座《水質調査》（数理探究科1年）

9月12日（木）、1年数理探究科で地域連携講座が実施されました。テーマは『郷土の自然を探る』。この行事は、水質調査の技法を学び、自然科学への興味関心を高めることと、フィールドワークを通して身近な水質環境を学び、環境学への理解を深めることを目的としています。長崎大学環境科学部の飯間雅文准教授をお迎えし、校内を流れる玖島川に沿って河口までの水質調査のフィールドワークを行いました。水を持ち帰り、何種類かのパックテストを行って、pHや NH_4^+ 濃度等を調べました。見た目ではわからない水の汚れ具合が判明し、生徒たちは驚いた様子でした。また、大村公園河口付近のプランクトンを調査し多種多様な珪藻類を確認できました。また池の水温が昨年より高くなっていることもわかり、猛暑の影響が身近な環境に影響していることを実感できました。今後の探究活動につながることを期待します。



写真左：河川調査のようす



右：水質調査のようす

◆食品セミナー（家政科2年）

9月18日（水）、西九州大学より三嶋 敏雄教授をお招きし、「魚を知って食べて健康になろう」というテーマで講義を実施していただきました。食、特に魚についての講義等を通じて、魚と健康の関係について適切に理解し、科学的根拠に基づく適切な判断・行動をとるための科学リテラシーを高めることを目的とした内容です。日本の魚消費量は世界一であり、私たちにとって魚は身近な食材ですが、知らないことがたくさんあります。講義の中で、魚食文化の実際を知り、魚の健康パワーを専門的に学ぶことができ、生徒たちは魚の魅力を再発見した様子でした。



講義のようす



さかな検定問題にチャレンジ！

◆科学プレゼン講座（数理探究科2年）

9月18日（水）、長崎大学大学院より菅向志郎教授をお招きし、科学プレゼン講座が行われました。科学プレゼンの基本から、ポスター制作・口頭発表における留意点まで、わかりやすい実例を示しながら講義していただきました。アメリカ研修での発表を控えている2年数理探究科の生徒たちにとって有意義なものとなりました。現在探究活動を行っている1・2年生全員にも役立つポイントを、今回の講義の中から一部紹介します。

《良いプレゼンの6箇条》（ポスター・スライド）

- ①1項目1フレーズで輝く構成 ②項目に詰め込み厳禁
- ③見せたい所、流れに図形 ④文章よりも目視の容易さ
- ⑤キーフレーズは繰り返しOK

- ⑥プレゼンは苦労話にあらず

《良いプレゼンの6箇条》（発表）

- ①聞き手にお尻を向けない ②指し示す ③話し言葉
- ④あせらない・あわてない ⑤実戦練習（原稿を覚える）
- ⑥面白さ・楽しさを伝えて共有する